

(2) 自在ぼうき校内検定評価表

使用資機材：自在ぼうき，ちり取り，毛がき

作業順序	1～5級	評価	6～10級	評価
準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ほうきの柄を立て<u>身体に寄せて持ち運んだか。</u></li> <li>• ほうき・ちり取り・毛がきを<u>通行の妨げにならない場所に</u>、床に寝かせて置いたか。</li> </ul>		ほうきを <u>身体に寄せて運んだか。</u>	
持つ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ほうきの柄の先端に片手の親指をのせて握り、もう一方の手は柄の先端より30～40cmほど下を、<u>親指が上になる向きで握ったか。</u></li> <li>• 両足は肩幅ぐらいに広げて、背筋を伸ばして立ったか。</li> </ul>		<u>背筋を伸ばしてほうきを持ったか。</u>	
掃く	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ほうきは身体の前を横方向に動かし、前進しながら、<u>前の掃き跡に少し重ねて掃いたか。</u></li> <li>• <u>ときどき毛先を床に軽くたたいて、ゴミやほこりを落としか。</u></li> </ul>		ほうきの毛先を床から離さず、軽く押さえるようにして掃いたか。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ほうきの毛先を床から離さず、軽く押さえるように掃いたか。</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 一回の掃き幅はおよそ120～150cmか。 (<u>柄を握っている下の手を伸ばしたところから掃き始め、両足の前を過ぎたところで掃き終えたか。</u>)</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ほうきを壁や机にぶつかけたり、毛先を床に強く押しつけたりしていないか。</li> </ul>			
<u>廊下を掃く</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 8ページの図のように順番に掃いたか。(出入口の右側から掃き始め、壁際のゴミを中央に寄せる。<u>壁際の掃き方：ほうきを幅木に当てないよう、ほうきの頭部を幅木に対して斜めにして幅木に沿って掃き、次に身体の前を横方向に掃く。区画の端まで進んだら、身体を90度回転させて次の列の足場を掃く。その後、進む方向に身体を90度回転させ、前進して掃く。)</u></li> <li>• 中央に集めたゴミを出入口に向けて掃き、ちり取りで取ったか。(ほうきの柄の下の方を親指が下になる向きで握り、ほうきの毛先幅の半分程度をちり取りの中に入れるようにして掃き込む。ゴミを取り残さないよう、ちり取りを2～3回後ろにずらしながら取る。)</li> </ul>		端から順番に掃いたか。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>掃き終えた区画を点検したか。掃き残しがあれば、掃き取ったか。</u></li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 作業後、毛先のゴミなどを毛がきで取ったか。</li> </ul>			

●評価基準…評価欄についた○の数で級を決める。

1級	2級	3級	4級	5級
10個	9個	8個	7個	6個

6級	7級	8級	9級	10級
5個	4個	3個	2個	1個

※校内検定は、本書15～16ページを参考に、各校の状況に合わせた形で行って下さい。